

たが 多賀海岸環境整備事業「海のまほろば」

受賞機関 兵庫県淡路県民局県土整備部洲本土木事務所

はじめに

多賀海岸は、淡路島西海岸のほぼ中程に位置する津名郡一宮町の海岸である。

一宮町は日本書紀に香木伝説が記され、朝廷に香木を献上したという日本の香り文化発祥の町であり、国生み神話で有名なイザナギ・イザナミの二神を奉る伊弉諾神宮が鎮座し、例大祭には数多くの参詣客で賑わう、古くからひらかれた地である。

多賀海岸は隣接する郡家港海岸と併せて「多賀の浜海水浴場」として長い間親しまれてきたが、度重なる台風の被害を受けて、近年海浜地の侵食が激しくなり、風や波の強いときには県道上まで波が達し、通行に支障をきたすようになったため、侵食対策と親水性をもった公園整備を目的とした海岸環境整備事業を推進するに至った。

事業概要

海岸名：多賀海岸

事業期間：平成2年度～平成13年度

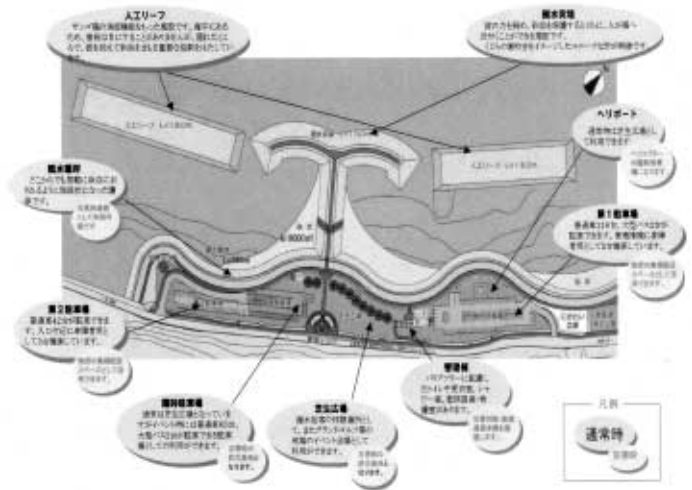
事業費：1,800百万円

緑地面積：約30,000m²

事業の特徴

「海と人、人と人との交流空間の形成」、「人に優しいアメニティ空間の確保」、「地域防災拠点の整備」を整備目標に定め、侵食により消失した砂浜を養浜により復元することで、侵食防止を図ると同時に、親水性豊かな海岸として、また地域の防災拠点としての整備を行った。

夕日を眺める視点場としての資源に優れ、海と空の景観を同時に楽しめる開放的な空間を確保するとともに、海水浴だけでなく、地域交流、イベント、スポーツなど、四季を通じて多目的な利用ができる施設整備を図った。

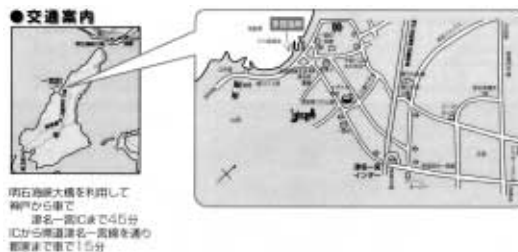


バリアフリーに配慮した救護室・シャワー室・更衣室・トイレを併設した管理棟、四阿、駐車場、芝生広場、遊歩道、日陰棚等、利用者に優しい施設整備を行った。

また、災害発生時には、管理棟は災害対策・医療通信本部として、駐車場は物資の集積配送スペースとして、芝生広場は自衛隊の駐屯スペースとして活用でき、一部はヘリポートの臨時発着場となるほか散策路は迂回路としての利用が可能となっている。

年間を通じて地域のふれあいの場として、また地元のにぎわいと活力の向上に寄与すると共に、親しみのある施設として利用されている。

受賞賛助会員 パシフィックコンサルタンツ(株)



親水護岸



多賀海岸（全景）



第1駐車場